本学施設の現状

2026年5月1日現在

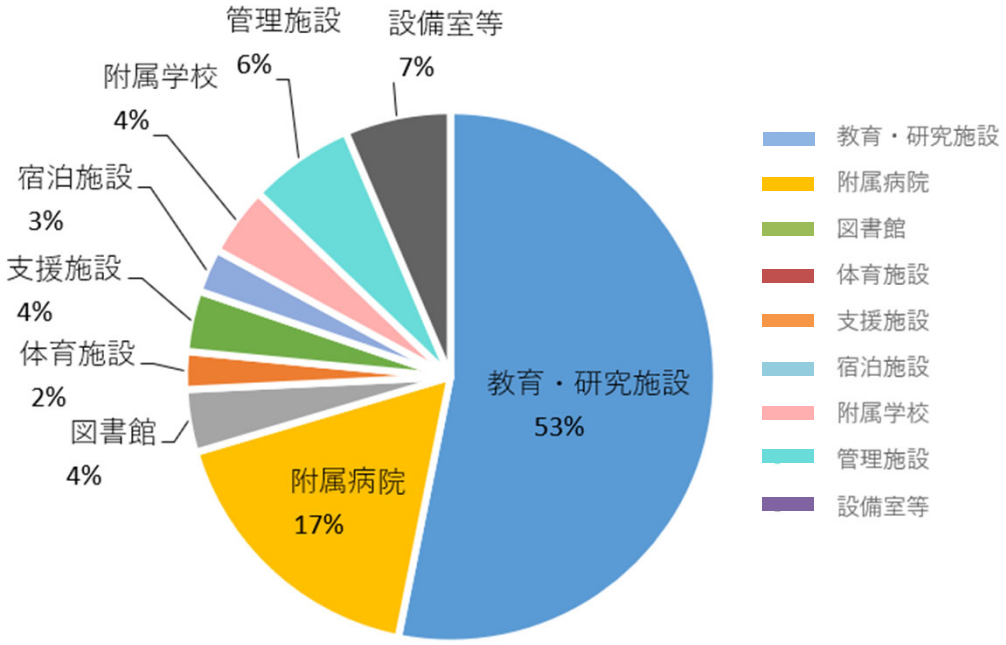
富山大学

本学施設の現状について

【建物編】

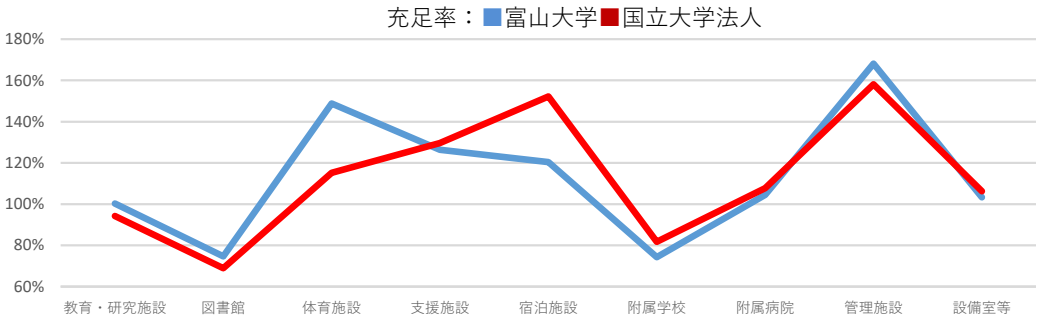
施設の保有状況

本学保有面積 362,199㎡のうち， 教育・研究施設は約53%， 附属病院が約17%を占め，
この2つの施設で大学全体の7割を占めている。



※区分説明　教育・研究施設ー学部・大学院・学内共用施設　附属病院ー附属病院・看護師宿舎　図書館ー図書館
体育施設ー屋内運動場施設及び附属施設
支援施設ー研究者交流施設・教職員施設・福利施設・保健管理施設・課外活動施設
宿泊施設ー国際交流会館・学生寄宿舎　附属学校ー附属中学校・附属小学校・附属幼稚園・附属特別支援学校
管理施設ー管理施設・一般管理施設・講堂・大学ホール　設備室等ー施設等の渡り廊下・設備室

面積の充足状況



区分	必要面積	保有面積	充足率	全国立大学充足率（2026年5月1日現在）
富山大学	351,543㎡	362,199㎡	103.03%	99.67%
教育・研究施設	191,894㎡	192,513㎡	100.32%	94.20%
図書館	18,543㎡	13,840㎡	74.64%	68.91%
体育施設	5,591㎡	8,321㎡	148.83%	115.23%
支援施設	10,610㎡	13,407㎡	126.36%	129.70%
宿泊施設	8,052㎡	9,697㎡	120.43%	152.29%
附属学校	20,587㎡	15,296㎡	74.30%	81.75%
附属病院	59,837㎡	62,520㎡	104.48%	107.76%
管理施設	13,839㎡	23,271㎡	168.16%	158.17%
設備室等	22,590㎡	23,334㎡	103.29%	106.29%

※保有面積とは， 現有面積に未完成建物の面積を加算した上で， 未壊建物の面積を控除した面積をいう。
※必要面積とは， 基準面積と加算面積を合算した面積で， 大学が区分毎に必要とする面積をいう。
※宿泊施設には， 職員宿舎は含まない。

本学の必要面積に対する保有面積の充足率は，103.03%あり，国立大学法人充足率より高い。

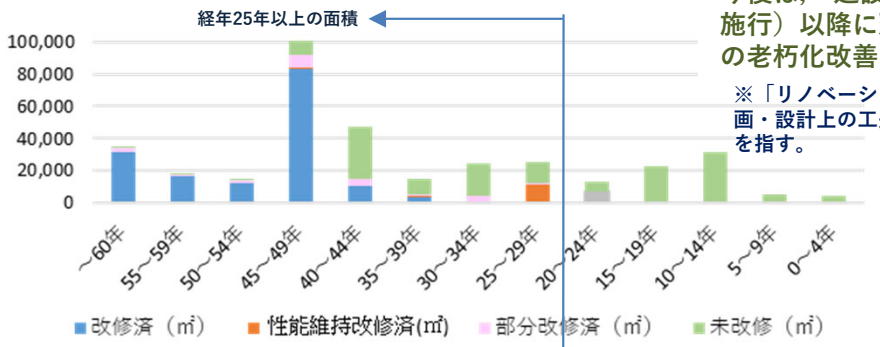
しかし，用途別で見れば，「支援施設」「宿泊施設」「附属学校」「附属病院」「設備室等」が，国立大学法人等充足率より低い。

充足率の平均は，本学が113.42%，国立大学法人は112.70%である。

保有施設の経年状況

経年別保有面積

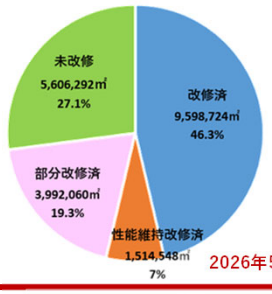
- 施設保有面積 362,199㎡のうち，要改修の目安とされる建築後25年以上を経過しているものは，285,830㎡（78.9%）となり，国立大学法人等統計比率 70.7%より高い比率となっている。
- 建築後25年以上経過している施設のうち，改修済は 157,213㎡(55.0%)であり，要改修施設（部分改修済・性能維持改修済並びに未改修）は 128,617㎡（45.0%）である。また，国立大学法人等統計比率の要改修施設の割合は 53.7%となっている。
  本学の施設は，国立大学法人等統計比率と比較すると，改修は進んでいるが，老朽化が高い傾向にある。
- 本学における教育・研究施設の耐震化は，2016年に100%完了した。



今後は，建設後25年を経過する新耐震基準（昭和56年施行）以降に建設された工学部，芸術文化学部等の施設の老朽化改善（リノベーション）が課題である。

※「リノベーション」＝教育研究の活性化を引き起こすため，施設計画・設計上の工夫を行って，新たな施設機能の創出を図る創造的な改修を指す。

国立大学法人等の保有面積29,236K㎡のうち
経年25年以上の面積は20,711k㎡で,全体の70.7%である



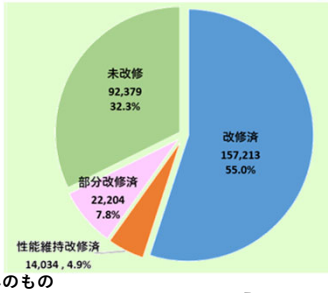
2026年5月1日現在

経年	60年以上	55~59年	50~54年	45~49年	40~44年	35~39年	30~34年	25~29年	20~24年	15~19年	10~14年	5~9年	0~4年
建築年	~1966	1967~1971	1972~1976	1977~1981	1982~1986	1987~1991	1992~1996	1997~2001	2002~2006	2007~2011	2012~2016	2017~2021	2022~
保有面積	35,133㎡	18,136㎡	14,004㎡	107,079㎡	46,785㎡	15,040㎡	24,735㎡	24,918㎡	13,068㎡	22,555㎡	31,467㎡	4,971㎡	4,308㎡
割合	9.7%	5.0%	3.9%	29.6%	12.9%	4.2%	6.8%	6.9%	3.6%	6.2%	8.7%	1.4%	1.2%

25年以上経過面積　285,830㎡　78.9%

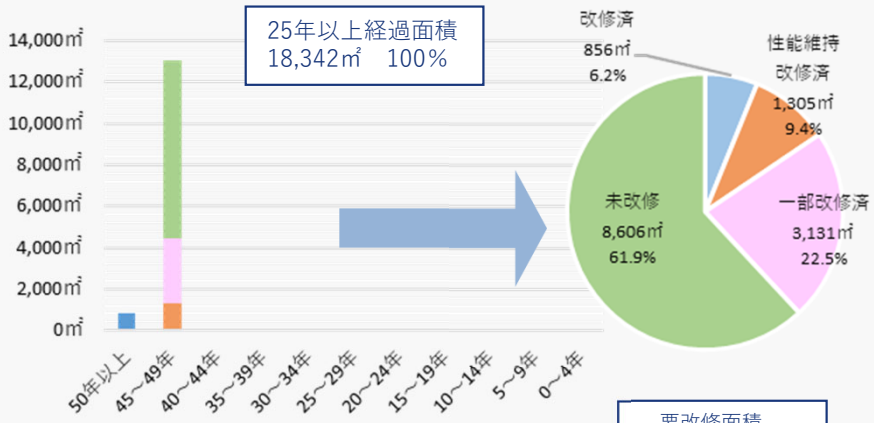
経年	~60年	55~59年	50~54年	45~49年	40~44年	35~39年	30~34年	25~29年
改修済	31,726㎡	16,686㎡	11,745㎡	83,360㎡	10,020㎡	2,969㎡	409㎡	298㎡
性能維持改修済	0㎡	236㎡	0㎡	1,011㎡	0㎡	1,441㎡	0㎡	11,346㎡
部分改修済	2,632㎡	105㎡	1,903㎡	7,914㎡	4,912㎡	342㎡	3,729㎡	667㎡
未改修	1,109㎡	1,109㎡	356㎡	14,794㎡	31,853㎡	10,288㎡	20,597㎡	12,607㎡

25年以上経過面積のうち
要改修面積
128,617㎡　45.0%



：【改修済】外部，内部，耐震の全てが改修済みのもの
：【性能維持改修済】屋外防水，外壁改修を実施したもの
：【部分改修済】性能維持改修を除く外部，内部，耐震のいずれかが未改のもの
：【未改修】外部,内部,耐震の全てが未改修のもの
→要改修面積

職員宿舎の経年状況



要改修面積
17,486㎡　95.3%

：【改修済】外部，内部，耐震の全てが改修済みのもの
：【性能維持改修済】屋外防水，外壁改修を実施したもの
：【部分改修済】性能維持改修を除く外部，内部，耐震のいずれかが未改修のもの
：【未改修】外部,内部,耐震の全てが未改修のもの

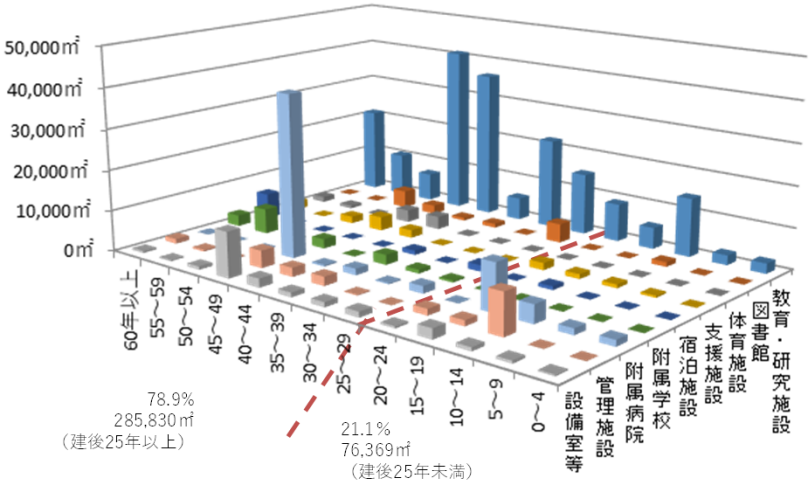
職員宿舎の保有面積は 18,342㎡であり，全宿舎が経年25年以上を経過している。

要改修（部分改修済,性能維持改修済並びに未改修）は17,486㎡（95.3%）であり，本学施設では最も老朽化が進んでいる。

職員宿舎は，施設整備費補助金の整備対象とされず，自己財源で整備する必要がある。

2024年に改訂した「職員宿舎の改修・廃止計画について」の中で，適正戸数を見直し，維持する宿舎を最低限の戸数（65戸）とし，2029年３月までに残りの宿舎を廃止することとしている。廃止を決定した宿舎用地については，土地の有効利用について検討を行っている。

経年別・用途別保有面積



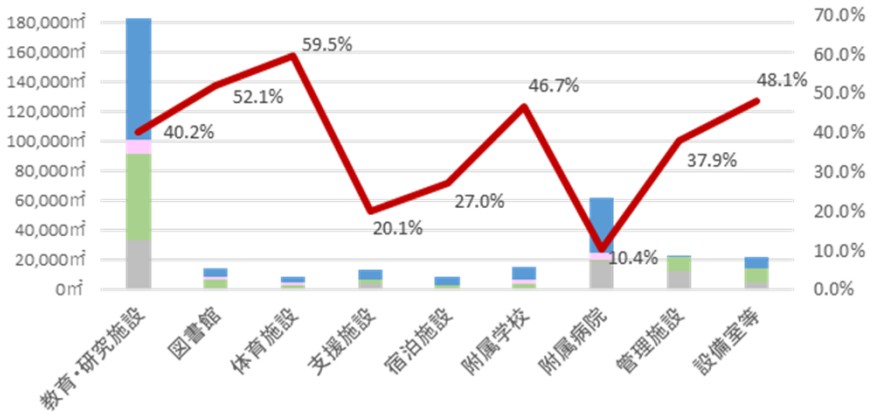
本学で建築後25年以上経過している建物は，全建物面積の78.9%を占めている。施設別に見れば，体育施設（100%），附属学校（99.4%），図書館（91.8%）が高い割合を示す。

経年		教育・研究施設	図書館	体育施設	支援施設	宿泊施設	附属学校	附属病院	管理施設	設備室等	合計
経年	建築年										
25年以上	2001以前 H13以前	158,856㎡ (82.5%)	12,707㎡ (91.8%)	8,321㎡ (100.0%)	9,133㎡ (68.1%)	8,813㎡ (90.9%)	15,199㎡ (99.4%)	43,660㎡ (69.8%)	10,544㎡ (45.3%)	18,597㎡ (79.7%)	285,830㎡ (78.9%)
25年未満	2002未満 H14以降	33,657㎡ (17.5%)	1,133㎡ (8.2%)	0㎡ (0.0%)	4,274㎡ (31.9%)	884㎡ (9.1%)	97㎡ (0.6%)	18,860㎡ (30.2%)	12,727㎡ (54.7%)	4,737㎡ (20.3%)	76,369㎡ (21.1%)
合計		192,513㎡	13,840㎡	8,321㎡	13,407㎡	9,697㎡	15,296㎡	62,520㎡	23,271㎡	23,334㎡	362,199㎡

経年別（区分別）大学保有面積

経年		教育・研究施設	図書館	体育施設	支援施設	宿泊施設	附属学校	附属病院	管理施設	設備室等	合計
経年	建築年										
60年以上	～1966 (～S41)	21,173㎡ (11.0%)	0㎡ (0.0%)	1,314㎡ (15.8%)	2,061㎡ (15.4%)	6,195㎡ (63.9%)	2,748㎡ (18.0%)	0㎡ (0.0%)	1,154㎡ (5.0%)	488㎡ (2.1%)	35,133㎡ (9.7%)
55～59	1967～1971 (S42～S46)	10,589㎡ (5.5%)	0㎡ (0.0%)	696㎡ (8.4%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	6,138㎡ (40.1%)	0㎡ (0.0%)	401㎡ (1.7%)	312㎡ (1.3%)	18,136㎡ (5.0%)
50～54	1972～1976 (S47～S51)	6,957㎡ (3.6%)	4,268㎡ (30.8%)	0㎡ (0.0%)	1,718㎡ (12.8%)	4㎡ (0.0%)	92㎡ (0.6%)	0㎡ (0.0%)	158㎡ (0.7%)	807㎡ (3.5%)	14,004㎡ (3.9%)
45～49	1977～1981 (S52～S56)	41,111㎡ (21.4%)	2,143㎡ (15.5%)	3,012㎡ (36.2%)	3,418㎡ (25.5%)	0㎡ (0.0%)	2,301㎡ (15.0%)	39,710㎡ (63.5%)	4,235㎡ (18.2%)	11,149㎡ (47.8%)	107,079㎡ (29.6%)
40～44	1982～1986 (S57～S61)	36,258㎡ (18.8%)	663㎡ (4.8%)	3,145㎡ (37.8%)	1,922㎡ (14.3%)	0㎡ (0.0%)	76㎡ (0.5%)	342㎡ (0.5%)	2,203㎡ (9.5%)	2,176㎡ (9.3%)	46,785㎡ (12.9%)
35～39	1987～1991 (S62～H3)	5,515㎡ (2.9%)	966㎡ (7.0%)	122㎡ (1.5%)	14㎡ (0.1%)	1,061㎡ (10.9%)	2,454㎡ (16.0%)	1,564㎡ (2.5%)	2,215㎡ (9.5%)	1,129㎡ (4.8%)	15,040㎡ (4.2%)
30～34	1992～1996 (H4～H8)	22,141㎡ (11.5%)	33㎡ (0.2%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	937㎡ (6.1%)	263㎡ (0.4%)	176㎡ (0.8%)	1,185㎡ (5.1%)	24,735㎡ (6.8%)
25～29	1997～2001 (H9～H13)	15,112㎡ (7.8%)	4,634㎡ (33.5%)	32㎡ (0.4%)	0㎡ (0.0%)	1,553㎡ (16.0%)	453㎡ (3.0%)	1,781㎡ (2.8%)	2㎡ (0.0%)	1,351㎡ (5.8%)	24,918㎡ (6.9%)
20～24	2002～2006 (H14～H18)	9,261㎡ (4.8%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	1,746㎡ (13.0%)	0㎡ (0.0%)	56㎡ (0.4%)	0㎡ (0.0%)	1,532㎡ (6.6%)	473㎡ (2.0%)	13,068㎡ (3.6%)
15～19	2007～2011 (H19～H23)	5,229㎡ (2.7%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	1,157㎡ (8.6%)	877㎡ (9.0%)	41㎡ (0.3%)	11,459㎡ (18.3%)	1,350㎡ (5.8%)	2,442㎡ (10.5%)	22,555㎡ (6.2%)
10～14	2012～2016 (H24～H28)	14,296㎡ (7.4%)	1,133㎡ (8.2%)	0㎡ (0.0%)	905㎡ (6.8%)	7㎡ (0.1%)	0㎡ (0.0%)	4,411㎡ (7.1%)	9,836㎡ (42.3%)	879㎡ (3.8%)	31,467㎡ (8.7%)
5～9	2017～2021 (H29～R3)	2,385㎡ (1.2%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	466㎡ (3.5%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	1,501㎡ (2.4%)	0㎡ (0.0%)	619㎡ (2.7%)	4,971㎡ (1.4%)
0～4	2022～2026 (R4～R8)	2,486㎡ (1.3%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	1,489㎡ (2.4%)	9㎡ (0.0%)	324㎡ (1.4%)	4,308㎡ (1.2%)
合　計		192,513㎡	13,840㎡	8,321㎡	13,407㎡	9,697㎡	15,296㎡	62,520㎡	23,271㎡	23,334㎡	362,199㎡

用途別老朽化状況

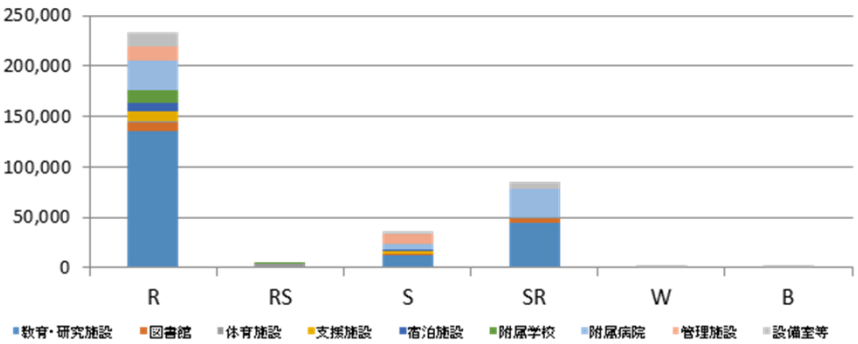


建築後25年以上経過している施設別の老朽化率を見ると体育施設 59.5%が最も高く，附属病院は 10.4%と最も低い。
本学の老朽化率は 35.5%である。
国立大学等の老朽化率は 32.8%である。

【老朽化率】保有面積に占める老朽施設の面積（要改修面積）の割合　①／②
【改修済み】外部，内部，耐震のすべてが改修済み
【部分改修済】外部，内部，耐震のいずれかが部分改修
【性能維持改修済】
【未改修】外部,内部,耐震の全てに未改修
【経年25年未満】

経年		教育・研究施設	図書館	体育施設	支援施設	宿泊施設	附属学校	附属病院	管理施設	設備室等	合計
経年25年以上（2001年以前）		158,856㎡	12,707㎡	8,321㎡	9,133㎡	8,813㎡	15,199㎡	43,660㎡	10,544㎡	18,597㎡	285,830㎡
経年25年以上の内訳	改修済み	81,374㎡	5,491㎡	3,366㎡	6,442㎡	6,191㎡	8,059㎡	37,185㎡	1,730㎡	7,375㎡	157,213㎡
	部分改修	9,259㎡	1,928㎡	2,354㎡	420㎡	0㎡	3,079㎡	4,598㎡	101㎡	413㎡	22,152㎡
	性能維持改修済	10,157㎡	0㎡	0㎡	0㎡	1,061㎡	218㎡	991㎡	0㎡	1,607㎡	14,034㎡
	未改修	58,014㎡	5,288㎡	2,601㎡	2,271㎡	1,561㎡	3,843㎡	886㎡	8,713㎡	9,202㎡	92,379㎡
	要改修 ①（部分改修＋性能維持改修済＋未改修）	77,430㎡	7,216㎡	4,955㎡	2,691㎡	2,622㎡	7,140㎡	6,475㎡	8,814㎡	11,222㎡	128,565㎡
経年25年未満（2001年以降）		33,657㎡	1,133㎡	0㎡	4,274㎡	884㎡	97㎡	18,860㎡	12,727㎡	4,737㎡	76,369㎡
保有面積合計　②		192,513㎡	13,840㎡	8,321㎡	13,407㎡	9,697㎡	15,296㎡	62,520㎡	23,271㎡	23,334㎡	362,199㎡
老朽化率　①／②		40.2%	52.1%	59.5%	20.1%	27.0%	46.7%	10.4%	37.9%	48.1%	35.5%

構造別・用途別保有面積



保有面積の構造別割合は，下記のとおりで，国立大学等比率とほぼ同じ傾向となっている。

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（R）　全国（2026.5.1現在）
本学 64.3%　　全国　60.4%
鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（SR）
本学 23.4%　　全国　24.3%
鉄骨造（S）
本学 9.9%　　全国　12.2%

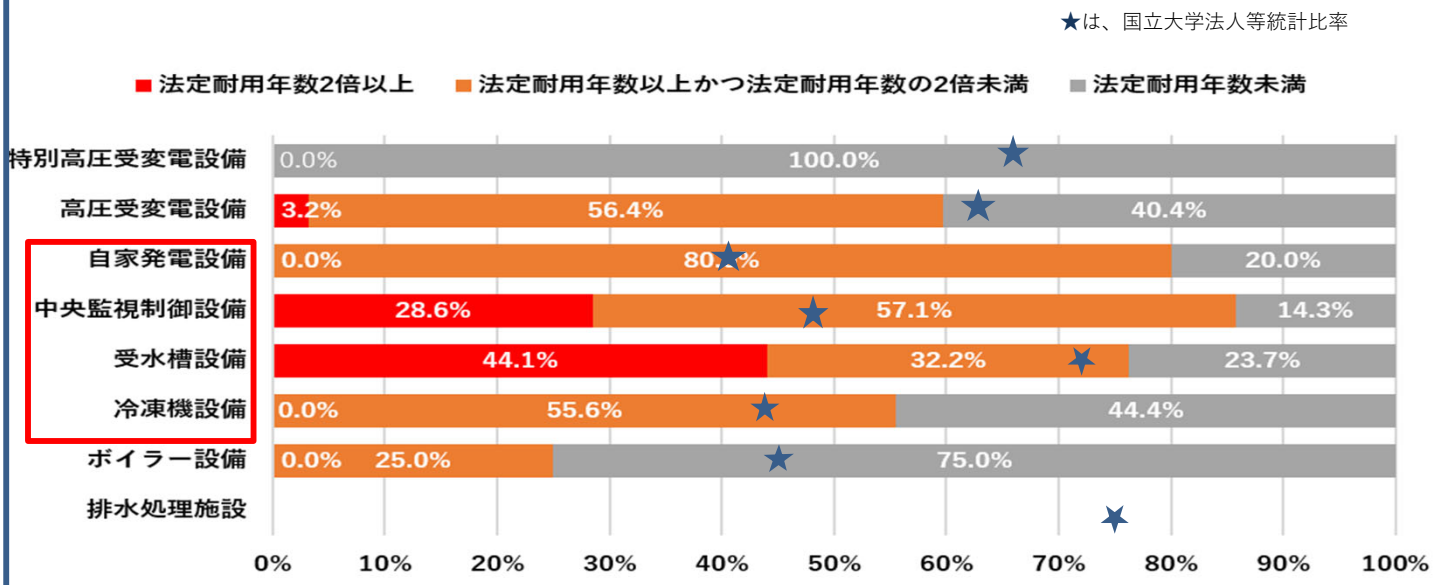
区分	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（R）	2階以上の階を鉄骨造とした鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（RS）	鉄骨造（S）	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（SR）	木造（W）	その他の構造（B）	計	割合
富山大学	232,997㎡	5,974㎡	35,868㎡	84,631㎡	1,068㎡	1,661㎡	362,199㎡	
教育・研究施設	135,191㎡	0㎡	12,388㎡	44,314㎡	194㎡	426㎡	192,513㎡	53.2%
図書館	8,049㎡	0㎡	1,166㎡	4,625㎡	0㎡	0㎡	13,840㎡	3.8%
体育施設	1,749㎡	4,390㎡	658㎡	1,063㎡	0㎡	461㎡	8,321㎡	2.3%
支援施設	9,698㎡	0㎡	2,848㎡	310㎡	320㎡	231㎡	13,407㎡	3.7%
宿泊施設	8,801㎡	0㎡	884㎡	0㎡	0㎡	12㎡	9,697㎡	2.7%
附属学校	12,348㎡	1,584㎡	697㎡	0㎡	545㎡	122㎡	15,296㎡	4.2%
附属病院	30,090㎡	0㎡	4,461㎡	27,969㎡	0㎡	0㎡	62,520㎡	17.3%
管理施設	12,839㎡	0㎡	10,223㎡	0㎡	0㎡	209㎡	23,271㎡	6.4%
設備室等	14,232㎡	0㎡	2,543㎡	6,350㎡	9㎡	200㎡	23,334㎡	6.4%
割合（%）	64.3%	1.6%	9.9%	23.4%	0.3%	0.5%		

国立大学法人等計	17,683,992㎡	634,277㎡	7,114,778㎡	3,562,585㎡	159,645㎡	138,149㎡	29,293,426㎡
2026.5.1現在　割合（%）	60.4%	2.2%	24.3%	12.2%	0.5%	0.5%	

基幹設備の老朽化状況

本学の基幹設備は下表のとおり311台を保有する。うち法定耐用年数を超過する設備は192台（61.7%）となっており，国立大学法人等の統計比率 61.4%より高くなっている。
また，基幹設備を個別に見た場合，本学の「自家発電設備」，「中央監視制御設備」，「受水槽設備」，「冷凍機設備」の耐用年数超過台数の割合は，国立大学法人等統計比率より高い値を示している。

富山大学における主な基幹の設備の老朽化状況（2026年5月1日現在）



※法定耐用年数（減価償却資産の耐用年数等に関する省令に基づく耐用年数）はそれぞれ15年

経年別台数

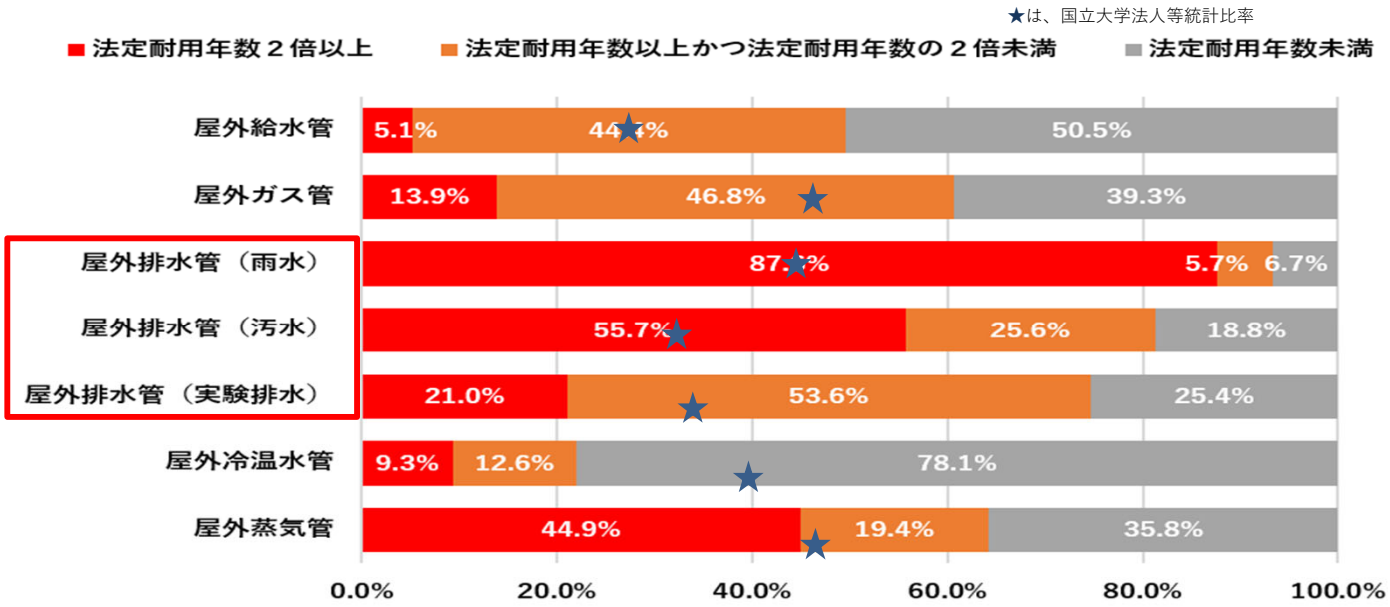
経過年数（中央監視制御設備）	法定耐用年数の2倍以上	法定耐用年数以上かつ法定耐用年数の2倍未満	法定耐用年数未満	台数計	★国立大学法人等統計比率 2026年5月1日現在	
	30年以上 1996以前設置	15～29年 1997～2011設置	0～14年 2012～設置		耐用年数超過台数	台数計
特別高圧受変電設備	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	5	157 (66.2%)	237
高圧受変電設備	7 (3.2%)	123 (56.4%)	88 (40.4%)	218	11,373 (62.1%)	18,312
自家発電設備	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	5	396 (40.1%)	987
中央監視制御設備	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	7	189 (48.7%)	388
受水槽設備	26 (44.1%)	19 (32.2%)	14 (23.7%)	59	3,457 (71.8%)	4,812
冷凍機設備	0 (0.0%)	5 (55.6%)	4 (44.4%)	9	818 (43.5%)	1,882
ボイラー設備	0 (0.0%)	2 (25.0%)	6 (75.0%)	8	342 (45.1%)	759
排水処理施設	0	0	0	0	445 (75.9%)	586
合計	35 (11.3%)	157 (50.5%)	119 (38.3%)	311	17,177 (61.4%)	27,963

国立大学法人等施設実態より転記

ライフライン（給水管・ガス管等）

本学のライフライン（給水管・ガス管等）の主要配管は下表のとおり 総延長約50kmを保有する。 うち法定耐用年数を超過する配管は約29km分（57.1%）となっており， 国立大学法人等統計比率 63.2%より低くなっている。
また， 主要配管を個別に見た場合， 「屋外排水管（雨水・汚水・実験排水）」の耐用年数超過長さが，国立大学法人等統計比率より高い値を示している。

富山大学における主要配管（給水管・ガス管等）の老朽化状況（2026年5月1日現在）



※法定耐用年数（減価償却資産の耐用年数等に関する省令に基づく耐用年数）はそれぞれ15年

経年別長さ

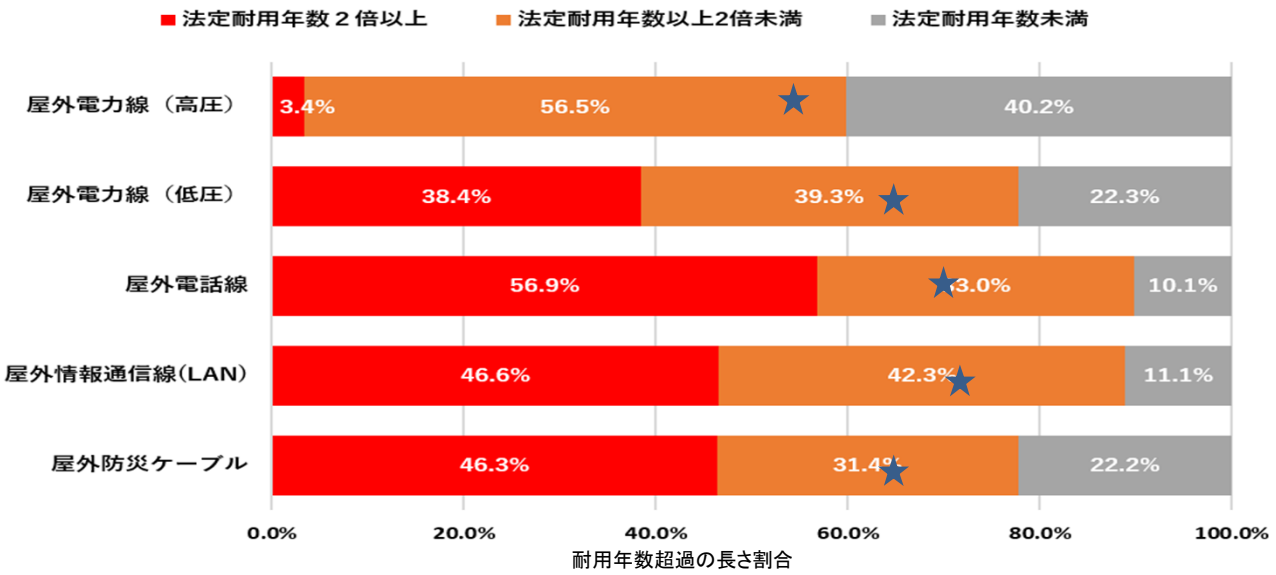
経過年数	法定耐用年数２倍以上	法定耐用年数以上かつ法定耐用年数の２倍未満	法定耐用年数未満	合計（m）	★国立大学法人等統計比率 2026年5月1日現在	
設置年	30年以上 1996以前設置	15年～29年 1997～2011設置	0年～14年 2012～設置		耐用年数超過長さ	長さ合計（km）
屋外給水管	790 (5.1%)	6,852 (44.4%)	7,796 (50.5%)	15,438	669 (52.5%)	1,275
屋外ガス管	1,105 (13.9%)	3,725 (46.8%)	3,128 (39.3%)	7,958	447 (75.3%)	594
屋外排水管（雨水）	4,079 (87.6%)	265 (5.7%)	313 (6.7%)	4,657	550 (72.4%)	760
屋外排水管（汚水）	4,250 (55.7%)	1,951 (25.6%)	1,433 (18.8%)	7,634	485 (59.8%)	811
屋外排水管（実験排水）	609 (21.0%)	1,551 (53.6%)	735 (25.4%)	2,895	101 (60.1%)	168
屋外冷温水管	876 (9.3%)	1,188 (12.6%)	7,340 (78.1%)	9,404	79 (69.3%)	114
屋外蒸気管	1,088 (44.9%)	470 (19.4%)	867 (35.8%)	2,425	142 (74.3%)	191
合計	12,797 (25.4%)	16,002 (31.7%)	21,612 (42.9%)	50,411	2,472 (63.2%)	3,914

国立大学法人等施設実態調査より転記

ライフライン（電力線等）

本学のライフライン（電力線等）の主要配線は下表のとおり総延長約191kmを保有する。 うち法定耐用年数を超過する配線は約153km分（80.1%）となっており， 国立大学法人等統計比率 の66.1%より高い値を示している。
また，主要配線を個別に見ても，どの電力線も国立大学法人等統計比率より耐用年数超過の長さは高い値を示している。

富山大学における主要配管（電力線等）の老朽化状況（2026年5月1日現在） ★は、国立大学法人等統計比率



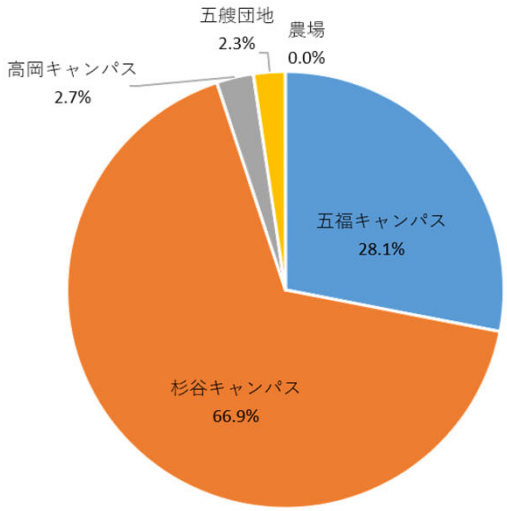
※法定耐用年数（減価償却資産の耐用年数等に関する省令に基づく耐用年数）は次のとおり
屋外電力線（高圧），屋外電力線（低圧）は15年
屋外電話線，屋外情報通信線(LAN)，屋外防災ケーブルは13年（ただし，光ファイバーであれば10年）

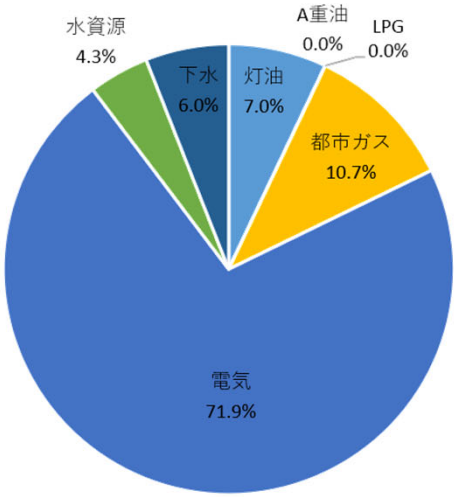
経年別長さ (km)

経過年数	法定耐用年数２倍以上 30年以上 1996以前設置	法定耐用年数以上2倍未満 15～29年 1997～2011設置	法定耐用年数未満 0～14年 2012～2026設置	合計	★全国立大学法人等統計 2026年5月1日現在 法廷耐用年数超過の長さ	合計
屋外電力線（高圧）	578 (3.4%)	9,741 (56.5%)	6,930 (40.2%)	17,249	806 (55.7%)	1,446
屋外電力線（低圧）	24,521 (38.4%)	25,115 (39.3%)	14,240 (22.3%)	63,876	1,511 (62.3%)	2,426
合計	25,099 (30.9%)	34,856 (43.0%)	21,170 (26.1%)	81,125 (100.0%)	2,317 (59.8%)	3,872

経過年数		法定耐用年数２倍以上 20年以上(26年以上) 2006以前(2000以前)設置	法定耐用年数以上2倍未満 10～19年(13～25年) 2007～2016(2001～2013)設置	法定耐用年数未満 0～10年(0～12年) 2017～2026(2014～2026)設置	合計	★全国立大学法人等統計 2026年5月1日現在 耐用年数超過の長さ	合計
屋外電話線	光ｹｰﾌﾞﾙ	979 (3.6%)	208 (0.8%)	0 (0.0%)	1,187 (4.4%)	12 (63.2%)	19
	光ｹｰﾌﾞﾙ以外	14,320 (53.2%)	8,672 (32.2%)	2,730 (10.1%)	25,722 (95.6%)	14.8 (0.7%)	2,033
屋外情報通信線(LAN)	光ｹｰﾌﾞﾙ	18,043 (55.7%)	16,400 (33.7%)	4,295 (10.6%)	38,738 (100.0%)	1,886 (78.6%)	2,398
	光ｹｰﾌﾞﾙ以外	0	0	0	0	99 (66.4%)	149
屋外防災等ｹｰﾌﾞﾙ	光ｹｰﾌﾞﾙ	0 (0.0%)	730 (1.6%)	1,843 (4.1%)	2,573 (5.7%)	114 (64.0%)	178
	光ｹｰﾌﾞﾙ以外	20,920 (46.3%)	13,460 (29.8%)	8,182 (18.1%)	42,562 (94.3%)	13.7 (0.6%)	2,199
合計		54,262 (49.0%)	39,470 (35.6%)	17,050 (15.4%)	110,782 (100.0%)	2,139 (30.7%)	6,976

キャンパス毎のエネルギーにかかる支出





令和7年度（2025）
光熱水料金：　14億8045万円
（令和6年度15億2000万円）

令和6年度より 3955万円（2.6%）の減

＜参考＞
●富山市における1世帯当たり消費支出料金 約35万円（R7家計調査より）で、本学の光熱水料金は, 約4200世帯分の料金となる。

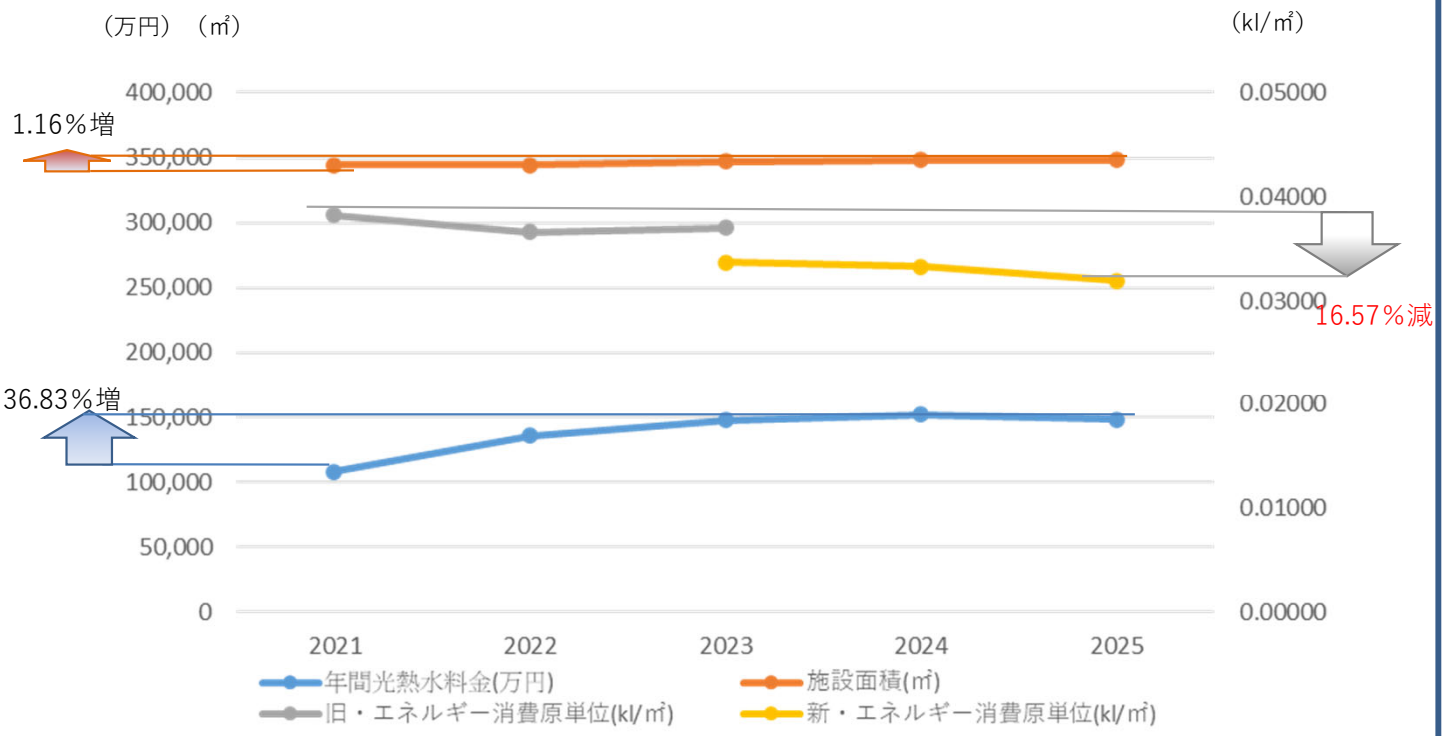
●1%の節約で約1,479万円の経費削減が可能
【削減の内訳】
- ガスの1%　　約158万円
- 電気の1%　　約1,065万円
- 上・下水の1%　約152万円
- 灯油の1%　　約104万円

種類	数量 金額	五福キャンパス	杉谷キャンパス	高岡キャンパス	五艘団地	農場	計
灯油	数量(L)	2,870	1,052,816	925	4,370		1,060,981
	金額(円)	367,360	103,277,485	118,400	559,360		104,322,605
A重油	数量(L)						
	金額(円)						
LPG	数量(㎥)			391			391
	金額(円)			152,284			152,284
都市ｶﾞｽ	数量(㎥)	472,564	814,499		32,944		1,320,007
	金額(円)	61,694,572	91,736,186		5,294,114		158,724,872
電気	数量(KWH)	11,307,419	27,596,100	1,106,365	411,221	533	40,421,638
	金額(円)	327,587,675	680,822,756	38,037,240	18,138,061	63,341	1,064,649,073
エネルギー合計金額(円)		389,649,607	875,836,427	38,307,924	23,991,535	63,341	1,327,848,834
水資源計 (市水, 井水, 工業用水)	数量(㎥)	80,308	233,522	29,267	19,515	4	362,616
	金額(円)	3,574,238	55,111,793	1,154,867	4,334,031	26,664	64,201,593
下水	数量(㎥)	61,589	156,053	3,499	18,353	120	239,614
	金額(円)	22,126,046	58,917,192	1,018,289	6,329,090	15,840	88,406,457
水資源・下水合計金額(円)		25,700,284	114,028,985	2,173,156	10,663,121	42,504	152,608,050
合計金額(円)		415,349,891	989,865,412	40,481,080	34,654,656	105,845	1,480,456,884

本学のエネルギー

○ 過去5年間で，エネルギーを使用する施設面積は 2021年度から 4,013㎡(1.16%)増加しているが，年間光熱水料金は **39,849万円（36.83%）の増加**，エネルギー消費原単位は **0.00634kl/㎡（16.57%）の減少となっている**。

○ 一方,エネルギー単価は変動しており，近年は上昇の傾向となっている。さらなる光熱水費削減のためには，高効率機器や再生可能エネルギーの導入など省エネルギー化の促進とともに，省エネルギー活動の一層の推進と継続が必要である。



年度	年間光熱水料金(万円)	施設面積（㎡）	エネルギー消費原単位（kl/㎡）	
			旧	新
2021	108,197	344,260	0.03824	—
2022	135,759	344,262	0.03663	—
2023	147,392	346,807	0.03703	0.03372
2024	152,001	348,179	—	0.03331
2025	148,046	348,273	—	0.03190

施設面積：省エネ法に基づき寄宿舎等は含まない

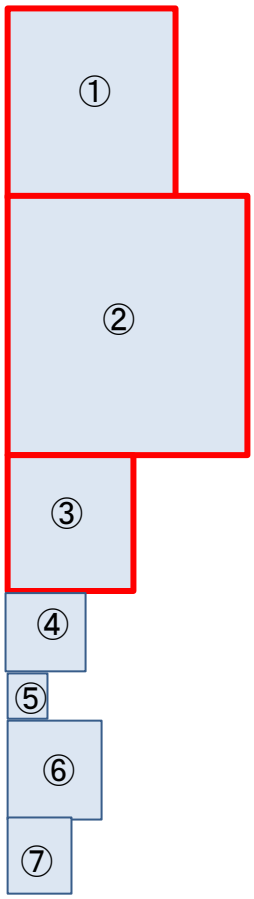
エネルギー消費原単位：エネルギー使用の効率を表す値　数字が小さいほど 省エネがすすんでいると判断できる

土地の面積

本学の総面積は，　844，512㎡ で東京ドーム18個分に当たり、
総面積の8割を主要3キャンパスで占めている。

主要３キャンパスで
８割を占めている

各キャンパスの面積対比



① 五福キャンパス　２３２，１７５㎡
事務局、人文学部
教育学部、経済学部
理学部、工学部、都市デザイン学部

② 杉谷キャンパス　３８１，６００㎡
医学部、薬学部
附属病院、和漢医薬学総合研究所

③ 高岡キャンパス　９９，８４７㎡
芸術文化学部

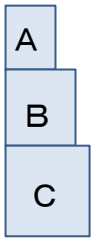
④ 五艘地区　３９，３３３㎡
附属幼、小、中、特別支援学校

⑤ 西田地方地区　１１，１６６㎡
教育学部農場

⑥ 寺町地区　５０，１７８㎡
学生寄宿舎、国際交流会館
自然観察実習センター

⑦ その他　30，２１３㎡
五福宿舎、西田地方宿舎
南太閤山宿舎
立山施設

比較例



A 富山市民球場　１４，２００㎡

B 富山県陸上競技場　３７，３４４㎡

C 東京ドーム　４６，７５５㎡